

一般質問事項一覧 12月4日（月）午前

質問者	質問方式	質問概要
島口（新生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 市長選挙について</p> <hr/> <p>○ 市長の任期が残すところあと半年余りとなったが、市長の現在の思いはいかがなものか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
松原（新生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 大野市における治山、治水について</p> <hr/> <p>○ 現在まで、治山・治水に対して取り組んだ対策はどんなものがあるのか聞きたい。</p> <p>○ 今後、取り組む対策はどのようなものがあるのか聞きたい。</p> <p>○ 治山・治水について、この重要性を国に理解いただくための活動はどのような行動があるのか。</p> <hr/> <p>2 人口減少、結婚対策について</p> <hr/> <p>○ なぜ人口が減少するのか。</p> <p>○ 結婚する気持になる心構えなどを個人個人に植え付けるには、どうすればいいのか。</p>

一般質問事項一覧 12月4日（月）午後

質問者	質問方式	質問概要
兼井（天空おおの）	一問一答方式	<p>1 行政経営手法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 連携中枢都市構想への参画を検討するに当たり、市長の考える大野市の強みとは何か聞きたい。 ○ 株式会社電通との相互連携協定の継続に向けて協議するとのことだが、どのように費用対効果を分析したのか聞きたい。 ○ 「重点道の駅（仮称）結の故郷」の市内への回遊性・年間を通した農産物、特産品の体制づくりの進捗（しんちよく）状況を聞きたい。 ○ 文化会館整備について、10月に実施されたPFI手法導入可能性調査の結果と、新文化会館と駅東公園の年間利用者数の目標を聞きたい。 ○ 補助金に頼らない公民連携での地域活性化を進めている、岩手県紫波町の「オガールプロジェクト」の手法を取り入れるべきではないか。 ○ 公民館を中心とした「地域の座談会」の取り組み状況と、テーマや構成メンバーについての考えを聞きたい。
		<p>2 小中学校の再編について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見直しを求める市長への3,000人が署名した意見書、パブリックコメントの260余りの意見や、12月議会の見直しを求める陳情書2件、3月議会の請願書2件、陳情書5件の採択。 さらに、小中学校再編計画に基づく小中学校整備基本構想策定に係る経費128万円の減額修正案も、現在の計画にとらわれることなく、市民が求めるさまざまな情報を公開し、「市民と共に学校再編計画を仕上げるための議論をスタートさせる最高のチャンス」と受け止めるべきと議会が可決した。その3月議会からの経過と今後の取り組みについて聞きたい。

質問者	質問方式	質問概要
<p>榮 （日本共産党大野市議団）</p>	<p>一括質問・答弁方式</p>	<p>1 大野市情報公開条例について</p> <hr/> <p>○ 大野市情報公開条例第5条によれば、「次に掲げるものは」と範囲を指定して、情報の公開の請求権を規制しているが、その理由について質問する。 情報公開を挟める要因になっているのでないか。</p> <p>○ 大野市の情報公開制度の在り方をどう考えているか。1982年、地方自治体が最初に情報公開制度を制定したのは山形県金山町。</p> <p>○ 学校教育審議会の答申は、採用して推進する。さらに強行する。が、同じ大野市自身が答申を諮問した大野市情報公開審査会の答申は、無視をして採用せず、情報請求権者に対する「非公開」、同理由の難癖を付ける行政手法の意図は何かを質問する。</p> <p>○ 情報公開請求資料の改ざんについては、どう考えているのか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
野村（日本共産党大野市議団）	一括質問・答弁方式	<p>1 小中学校再編について</p>
		<p>○ 中学校1校、小学校2校にする再編計画は、白紙撤回するべきではないか。</p>
		<p>2 人口減少対策について</p>
		<p>○ 学校再編の前に、まず人口増の対策を、児童・生徒を増加させるための施策はどのように考えているのか。</p> <p>○ 小中学校の給食費を第2子は2分の1、第3子以降は、無料にするべきではないか。</p> <p>○ 国民健康保険税の1世帯1万円の引き下げを行うべきではないか。</p> <p>○ 子どもの医療費の一部負担金の500円をなくして、完全無料にするべきではないか。</p> <p>○ 子どもの医療費無料化を、高校卒業まで拡充するべきではないか。</p>
		<p>3 CWP事業・電通について</p>
<p>○ CWP事業とは何か、一口で市民に分かるように説明してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容と29年度の予算総額、財源の内訳は。 ・募金、寄付金の集め方に問題はなかったのか。 <p>○ 電通に多額の費用を支払っているが、今まで何に使い、その効果は。</p>		
<p>4 公共下水道・農業集落排水について</p>		
<p>○ 今後の新たな下水道事業は見直すべきではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政破綻にならないか。 <p>○ 公共下水道と農業集落排水の料金統一が望ましいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同一行政区内での料金は公平にするべき。 		

質問者	質問方式	質問概要
堀田（無党派）	一問一答方式	<p>1 働き方改革について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「働き方改革」の重要性についての見解は。 ○ 電通の女性社員の過労死事件に対する見解は。 また市内の企業や事業所において、労働基準監督署から指導などがあった場合、市には連絡は。 ○ なぜ「働き方改革」を行うのか、といった意義を浸透させるべきだと思うが見解は。 ○ 男性の育児休暇、介護休暇などの利用状況は。 ○ 各部局への働き方改革の波及状況は。また取り組みは。 ○ 「働き方改革」の、民間企業への推進は。
		<p>2 スポーツ振興について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プレ大会について <ul style="list-style-type: none"> ・本年度カヌー競技、相撲競技、自転車ロードレースのプレ大会が開催されたが、本大会に向けての課題とその対策は。 ・大野市民の盛り上がり状況は。 ・選手、役員等の宿泊先は。 ○ 本大会について <ul style="list-style-type: none"> ・市内での、選手、役員、監督などの宿泊先は。 ・小中学校の児童・生徒の参加と仕組みは。 ○ 「福井しあわせ元気国体強化育成交付金事業補助」事業の効果は。 ○ 市出身者の愛媛国体への参加者は。 ○ 小学から中学へと継続してスポーツの機会を生徒に提供するための取り組みは。 ○ 運動部指導者の現状と、外部指導者の受け入れ状況と見解は。

一般質問事項一覧 12月5日（火）午前

質問者	質問方式	質問概要
宮澤（誠和会・公明党）	一括質問・答弁方式	<p>1 選挙について</p> <p>○ 過日の衆議院議員総選挙の結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の全体の投票率は。 ・18歳から20歳までのほか、世代別の投票率は。 ・期日前投票の投票率は。 <p>○ 投票所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大野市公職選挙法令執行規程において、投票区が定められているが、見直しの考えはあるのか。 ・投票所は、どのようにして決めるのか。 ・商業施設等での投票所設置（期日前投票所を含む。）の考えはないのか。 ・高齢者、障害者等に配慮した投票所について、その対策をどのように考えているのか。 <p>2 子育てについて</p> <p>○ 本市の過去3カ年の新生児数は。 また出生届け書類提出時に記念となる事業は考えないのか。</p> <p>○ 子育てに関して、どのような相談があり、課題をどのように考えるか。</p> <p>○ 電子母子手帳サービスの導入の考えはないのか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
松田（天空おのの）	一問一答方式	<p>1 大野市過疎地域自立促進計画について</p> <p>岡田市長の提案理由説明で、立地適正化計画を今年度中にまとめるとしているが、過疎地域から脱却し自立していくためには過疎対策との整合性が求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大野市過疎地域自立促進計画の更新について、次年度計画でどのような観点で進めるのか。 ○ 小学校区を中心として小さな拠点づくりから自立の方向に向けることが、大野市らしい過疎からの脱却の早道であり、今の学校区を拠点に過疎対策に打って出ることが有効ではないか。 ○ 現在の地域の運営組織について、どのような組織があるのか、また過疎から自立していくための組織の在り方についてどのように考えているか（区長会、よくする会、未来を考える会など）。 ○ 区長の役割と権限について、どのように理解すればいいのか。
		<p>2 行財政改革について</p> <p>第五次大野市総合計画では、健全な行財政の推進を目指して、人口減少や地方創生、少子化・高齢化対策など行政課題が山積する中、既存事業の見直しと経営資源の重点施策への選択集中配分を求めている。特に財政運営に当たっては、自主財源の確保が難しくなっていく中、市税の確保や一般会計からの繰り出しの増大が危惧されると分析・提言している。弾力的な財政運営を図るために、義務的経費や経常的経費の節減に努めるとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これから先の短期、中期の財政計画について、どのように考えているのか。 ○ 赤字地方債といわれる臨時財政対策債を、発行可能額の一部に止めることはできないのか。 ○ 次年度予算編成に向けて、経常的経費の節減についてどのように取り組むか。特に、物件費、補助費等、繰出し金について ○ 地方債残高と基金残高を含む将来負担額について、どうあるべきと考えるか。

一般質問事項一覧 12月5日（火）午後

質問者	質問方式	質問概要
高岡（天空おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <hr/> <p>○ 管内におけるインフラ整備・管理及び道の駅について、市長就任以来、中部縦貫自動車道等インフラ整備に力を注がれて来られたと思うし、中縦においては、近年供用にも現実的になってきたが、今後のインフラ推進、完成後の管理、また道の駅についての考えを尋ねる。</p> <p>○ 当市の文化・芸術・音楽・スポーツについて、当市はこの分野高揚に尽力されてこられたと思うが、今後の思い、これからの考えを尋ねる。</p>

質問者	質問方式	質問概要
廣田（清風会）	一問一答方式	<p>1 マイナンバーカードについて</p> <p>平成28年1月から交付されているマイナンバーカードについて、下記の4点について聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マイナンバーとマイナンバーカードとは。 ○ マイナンバーカードの交付状況及び住民基本台帳カードや印鑑登録証カードの現状について ○ マイナンバーカードによるサービスとはどのようなものがあるのか、また当市における利用状況は。 ○ マイナンバーカードの普及について
		<p>2 サテライトオフィス誘致について</p> <p>サテライトオフィスの誘致について、下記の3点について聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サテライトオフィスを誘致するに当たり、企業にPRする大野市の魅力とは何か。 ○ サテライトオフィスには、コールセンターや単純作業を行うバックオフィス業務、社員研修・地域事業企画などさまざまな業種があるが、大野市が誘致したい業種とはどのようなものか。 ○ オープンデータの活用、自治体アプリ、マイナンバーカードの活用などのシステム開発や、コールセンター、事務代行など、大野市として公的な事業の発注は考えているのか。

質問者	質問方式	質問概要
梅林（天空おのおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 公共下水道整備における各種問題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎年、一般会計から多額の資金が繰出金として下水道特別会計へ支出されている。どのような算定方法で繰り出し額が決定されているのか。 ○ 公共下水道基本計画見直しにより全体面積760㍍から899㍍、総事業費253億円から287億円に拡大しているが、全体費用のシミュレーションは行っているのか。 ○ 泉町下水道整備では、これまでの工事費や維持管理費よりも高騰すると想定されるが、概算でどれくらいか。 ○ 公共下水道によって財政悪化が進んだ自治体も多いが、本市の下水道運営によるリスクについてどこまで調べ、検証しているのか。 ○ 議案第58号 下水道事業特別会計補正予算、中野地係における上水道管移設及び老朽化による改修工事請負費380万円。工事計画の段階で移設は分かっているはずだが、なぜ補正で上がってくるのか。また上水道管の改修費をなぜ下水道特別会計で賄うのか。 ○ 加入率向上に向けての対策は。 ○ 下水道事業は、本市にとって最も大きな公共事業であり、多大な市民負担のみならず、子や孫へも多額の借金返済を強いることになる。受益者負担や使用料金、環境保全等について計画区域はもちろん、将来的なことを鑑みると市全域への説明の必要があると考えるが、見解は。 ○ 当初から下水道全体計画の中で最も問題点の多いとされている泉町・七間通りと、第五期整備区域等を、現状計画のまま整備を行った場合、本市の財政負担はこれまで以上に大きくなり、財政破綻の要因になる可能性は極めて高いと考えられる。整備開始が遅かった故に、まだ見直しを行う好機が残されていると考えるが、見解は。
		<p>2 情報公開と公文書作成、管理について</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 公文書に対する認識と適正管理への取り組みは。